

第1回 禁裏・公家文化講座 開催のお知らせ

「禁裏・公家文化講座」は、7年間、立命館大学朱雀キャンパスを中心会場として行ってきた「陽明文庫講座」を更に発展させ、近年、飛躍的に進展しつつある禁裏・公家文庫収蔵資料のデジタル画像の公開に伴う、目録学的研究の成果を基盤として、前近代の天皇家（禁裏）を中心とした公家社会の文化のさまざまな側面を専門家が講義します。

第1講 2017年11月26日（日）13時30分～15時

「史料編纂所蔵の14世紀公家日記」

藤原 重雄（東京大学史料編纂所 准教授）

◆会場：京都府立京都学・歴史館 小ホール

◆開場：13時

◆定員：70名（当日受付・先着順）

◆資料代として500円が必要です

◆会場アクセス

京都府立京都学・歴史館（京都府京都市左京区下鴨半木町1番地29）

【電車でお越しの方】

市営地下鉄烏丸線「北山駅」1番出口から南へ徒歩約4分

【バスでお越しの方】

北山駅前（京都市バス4系統・北8系統）南へ徒歩約4分

前萩町（京都バス45系統・46系統）南へ徒歩約4分



※来場の際には、地下鉄・市営バスなど公共交通機関をご利用ください。

主催 京都府立京都学・歴史館、科学研究費補助金・基盤研究（S）「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展一知の体系の構造伝来の解明」（研究課題番号：17H06117 研究代表者 東京大学史料編纂所 教授 田島 公）

共催 東京大学史料編纂所

後援 公益財団法人陽明文庫、科学研究費補助金・基盤研究（A）「撰閲家伝来史料群の研究資源化と伝統的公家文化の総合的研究」（研究課題番号 17H00926 研究代表者 東京大学史料編纂所 教授 尾上 陽介）